

オンラインを活用した地域の打合せ会議のあり方

～できない、じゃなく、やってみよう！！～

Zoom 開催

令和4年2月22日(火) 13時30分～15時
廿日市市町内会連合会 & 自治振興部 協働推進課



2022年(令和4年)2月22日(火)13時30分から、オンラインで開催しました。この企画は、廿日市市町内会連合会さんと連携して実施したもので、コロナ禍で活動の制限を余儀なくされている中で、事業企画をしては延期、そして中止を繰り返す日々、それでも何か出来ることを探して、やっと立ち上げたものでした。

まん延防止重点措置期間中、解除を見据えながら三役会をZoomで重ね、「オンライン開催」を選択せざるを得ないけど、それでも研修をやりたい！という熱い思いを受け取りました。協働推進課として何が出来るのかを検討し、「いま一番困っていること」、つまり、「集まることが出来ない中で、どうやって打合せをしたらいいのか、みんな、どうしてるの？」をテーマに選びました。

Zoom開催なので、参加のハードルが高いのは承知の上でしたが、当日は27人、事務局も含めたら31人で実施しました。主に、廿日市市町内会連合会の方々、市民活動センターネットワーク登録団体の方々の中からの参加でした。

タイムスケジュール

13:00～参加のみなさんチェックイン

13:30 第1部 オンラインを活用した取組み紹介

★地御前地区自治会 会長 吉本恒雄さん

「Zoomの活用例」

★深江万年青会 会長 杉山義彦さん

「グループLINEを使った取組み」

★宮内コミュニティづくり協議会 会長 田村秀穂さん

「LINEのチャットやZOOMを使った打合せ」

14:30 第2部 ブレイクアウトルームを使ってディスカッション

4人ずつに分かれて、グループディスカッション

14:55 おわりに

オンライン情報交換会

オンラインを活用した地域の打合せ会議のあり方
～できない、じゃなく、やってみよう！！～

2022年2月22日(火) 13:30～15:00

対象 廿日市市町内会連合会 市内各町内会・自治会・コミュニティの方
まちづくり活動をしている方

内容 ①事例紹介
◆地御前地区自治会 会長 吉本恒雄さん
「Zoomの活用例」
◆深江万年青会 会長 杉山義彦さん
「グループLINEを使った取組み(例)」
②宮内コミュニティづくり協議会 会長 田村秀穂さん
「LINEのチャットやZOOMを使った打合せ」
③グループディスカッション

お申し込み 参加される方は、こちらのURLへアクセスするか、QRコードを読み取ってください。
お申し込みできない方は、E-MAILにてお問合せ先にご連絡ください。
後日、招待メールをお送りします。
<https://docs.google.com/forms/d/1J53eD5vC3uYR4fQMgmsPAJ5vC0Xk9lUd6HEDdybCk/edit>
締切日: 2月17日(木)

主催 廿日市市町内会連合会、廿日市市自治振興部協働推進課

問合せ先 廿日市市町内会連合会事務局
TEL/FAX (0829) 32-3013 E-MAIL tyoun-ren@hatnet.jp
火曜日 9:00～16:00 水・木曜日 9:00～12:00

オンライン開催について

コロナ禍の中、まちづくりについて困っている方々に何か出来ないか、活動をされている方々の話を聞きたい、けれど人が集まる事業は出来ない、何か出来ることはないか、そのような中での企画でした。

新しい生活様式を受け入れ、出来ることを新たにやってみる。できない、じゃなく、やってみよう！と呼びかけながらZoomによる開催にいたりました。何より踏み出すことが大事。

第1部 <オンラインを活用した取組み紹介>

★地御前地区自治会 会長 吉本恒雄さん
「Zoomの活用例」

吉本会長自身のZoomとの出会いから試行錯誤の日々、自治会内でのホームページ立上げプロジェクト、三役会や会議のやり方、市民センターでのZoom体験会開催、そして、Zoom活用のメリットと課題等、わかりやすいシートで丁寧に説明していただきました。

Zoom利用事例3 ～Zoom体験会の開催(地御前地区)～

- 対象 地御前地区自治会役員、民生委員、地元住民
- 場所 地御前市民センター(センターのWi-Fiを利用)
- 開催 第1回Zoom体験会(令和3年7月) 15名参加
第2回Zoom体験会(令和3年8月) 18名参加(小学生含む)
- 研修内容 1. 話し ①インターネットの仕組み
②ZoomとLINEの違い
③情報リテラシー(セキュリティ、著作権、SNS、個人情報等)
2. 実習 ④PCとスマホを使ったWi-Fiの設定とZoomの利用方法

★深江万年青会 会長 杉山義彦さん 「グループLINEを使った取組み」



役員間の連絡にLINEを活用し、会議の連絡や情報共有に活用されています。ガラケーからスマホに変更されたら、すぐにLINE登録を依頼しグループに入ってもらおうそうです。一日に一回は見るように、とお願いしながら、勉強会を重ね、楽しくコミュニケーションを取る1つの手段として活用されています。



★宮内コミュニティづくり協議会 会長 田村秀穂さん 「LINEのチャットやZOOMを使った打合せ」

LINEもZoomも使ったことの無い役員が集まり、子どもさん、お孫さん等家族のサポートを受け、どうにか使えるようになり、役員会を開始。何が出来て、何が伝わりにくいのか、毎回、新しいことを試しながら、出来ることを模索中。防災関係には写真を共有でき有効だった事例が報告されました。



第2部 <ブレイクアウトルームを使ってディスカッション>

グループワークは「ブレイクアウトルーム」で実施してみました。せっかくの事例について感想や共感を確認したいこと、参加者のさまざまな環境や取組みを聞いてみたいこと、質問コーナーでは聞けなかったけれど素朴につぶやきたいこと、これらを4人ずつのグループで15分間、話をしてもらいました。ブレイクアウトルームは初体験の方も多かったけれど、ワーク終了後、皆さんの表情は生き生きしていました！三役（会長、副会長）からワークで話した内容を発表してもらい、皆で共有しました。



～アンケートの結果から～



- ①あなたの組織でのインターネット活用率・・・ 利用している 90%
うち、使用しているソフト（メール85%、Zoom80%、LINE60%）
- ②組織に必要な支援策・・・ 操作方法研修やマニュアル提供 80%、相談 60%、ノウハウ支援 55%
- ③この講座への主な意見、感想
 - ・オンライン会議は初めてで戸惑いがあったが、参加して良かった
 - ・事例を聞いて出来ることがあるとわかった。参考にしたい。
 - ・普段知り合えない方と交流することが出来た。他団体の活動内容を知ることが出来て良かった。



・・・おわりに・・・

協働推進課では、Zoomの使い方研修で使用したテキストを無償で提供しています。また、オンライン会議の運営支援もやっています。まずは、一緒に市民活動センターでZoom研修を主催してみませんか。何事も、やってみる・体験してみることから、始まります。みなさん、どうぞお気軽にご相談ください。ひとりでも多くの人たちが、はじめの一步を踏み出すきっかけづくりにつながることを願っています。

廿日市市町内会連合会さんは、次年度の研修会はハイブリッド開催を目指しておられます。ウィズコロナでは、対面とオンラインを上手に活用しながら取組みを進めることが大切だと思います。